

リーグル社製 VUX120-23を搭載したTDOT 7 NIR-Sを発表 5月24日(水)より受注開始

TDOTシステムとリーグル社製、超高速レーザーユニットVUX120-23を統合

ドローン搭載用レーザースキャンシステム「TDOT」と最大秒間2,400,000パルス、400ラインの驚異的な性能を持つRIEGL社製「VUX120-23」を統合。TDOTシリーズの特徴である高性能GNSS/INS航法システムを活かし、フライトからデータ出力までのシームレスなプロセスを実現。待望のハイエンドレーザースキャナシステム「TDOT 7 NIR-S」が誕生。



TDOTが誇る高性能GNSS/INS航法システムを搭載

IMU(慣性計測装置)等を用いたINS(慣性航法システム)とGNSS測位の互いの長所を活かすGNSS/INS複合航法により、高精度でドローンの位置・姿勢・方位データを計測します。このTDOTシリーズのGNSS/INS航法システムは、1秒間に数百万点というレーザー照射をしながらも、数cm級の高精度測量を実現するスペックを備えています。

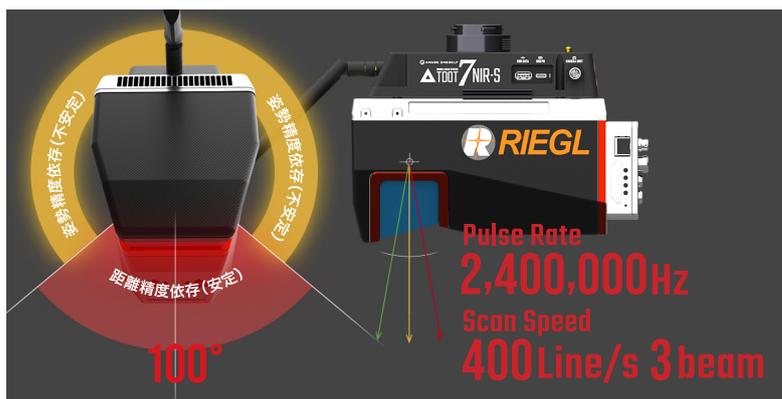
TDOTシリーズ GNSS/INSのスペック

位置精度	> 5mm
ヘディング	> 0.03°
ピッチ/ロール	> 0.006°
速度	> 0.01m/秒

リーグル社製、超高速レーザーユニット「VUX120-23」

VUX120-23は、最大秒間2,400,000パルス、400ラインのスキャンスピードと100°のFOV(視野角)を有しています。従来よりも早い航行スピードでスキャンを実施できるうえに、ビームは直下、前方+10°、後方-10°の3つの方向に連続して照射されます。

これにより、建物・構造物の鉛直面、あるいは切立った急崖から成る幅の狭い谷地形のような、これまでのレーザー測量が苦手とする対象物に対しても、構造全体を捉える測量データの取得を可能にします。



可視光カメラとサーモグラフィカメラを搭載したオプションのカメラユニット

可視光カメラとサーモグラフィカメラを搭載したユニットをオプションでご用意。可視光カメラでオルソ画像を生成。また点群データにカラー情報を付加することができます。サーモグラフィカメラでは、温度情報を点群データに付加することが可能となります。



オプションカメラユニット装着イメージ

1

スキャンデータを
プレビューにより現地で確認
手戻りの無い測量を支援



WORK-FLOW

誰もが簡単に測量できるというコンセプトを実現させる統合プラットフォーム

2

必要なデータを
クラウドサービスにアップロードするだけで
GNSS/INSデータによる
軌跡解析(最適軌跡解析)を自動で実施



3

最適軌跡解析と
スキャンデータを統合させて
高精度の点群データを出力



TDOT 7 NIR-S仕様

モデル名	➤ TDOT 7 NIR-S (ティードット セブン エヌアイアール-エス)
製品サイズ(約)	➤ W220 x H180 x D115 mm(カメラユニット除く)
製品重量(約)	➤ 2.8kg
通信周波数帯	➤ 2.4GHz、LTE
GNSS	➤ GPS、GLONASS、Galileo、QZSS(みちびき)、BeiDou
アタッチメント	➤ GLOWシリーズ / DJI SKYPORT いずれかを選択

※2023年4月時点のスペックです。詳細仕様についてはリーグル社ホームページをご覧ください。

レーザーモジュール仕様*

モデル名	➤ RIEGL VUX120-23
パルスレート	➤ 最大2400kHz
エコー数	➤ 最大32
スキャンスピード	➤ 50~400
クラス / 波長	➤ クラス1 / 近赤外線
ビーム広がり角	➤ 0.4mrad

株式会社アミューズワンセルフ

大阪本社 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-2-1 新ダイビル24階 2401
東京支社 〒108-0075 東京都港区港南1-9-36 アレア品川ビル13階 301

大阪 ☎ 06-6341-0207

東京 ☎ 070-6509-5504

✉ info@amuse-oneself.com

🌐 https://amuse-oneself.com



AMUSE ONESELF